



林野庁 北海道森林管理局

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

インフォメーション

第30号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

森林環境教育の取組 夏の学校林活動を支援

八月二五日（火）、標茶町立中茶安別小中学校で今年二回目の学校林活動が行われ、学年ごとに分かれて森林教室を行いました。

今回は、森林管理署の森林官も講師として参加し、三班に分かれ行いました。小学校低学年は、学校林内に落ちていた松ぼっくりを集めての花炭作りと樹木の特徴の学習、小学高学年は、森林の仕組みと働き・学校林の樹木観察・樹木の種の特徴と飛び方の学習、中学生は、巣箱の作成と更新・学校林の樹名板の作成をそれぞれ行いました。



中学生



低学年



最後のふりかえりの時間には、班ごとに体験学習した事を発表しあいました。「巣箱の中にモモンガが入っていた。」「樹名板を作成するときには樹木の名前を覚えた。」「タネの模型を作って飛び方が分かった。」「花炭作りがおもしろかった。」「などの感想発表があり、楽しい夏のふれあい活動を終了しました。

「親子体験ツアー」釧路

の支援

八月一日（土）、釧路支庁主催の「もりとみどりの親子体験ツアー『釧路』」が、快晴の下、国有林パイロットフォレストの森林内で行われ、根釧西部森林管理署と共に当センターも参加し体験プログラムの実施を担いました。

参加した三十名の親子は、支庁・森林管理署からの挨拶を受けた後、望楼（展望台）からパイロットフォレストの森林を見学、続いて間伐体験や森林内遊歩道での森林浴、松ぼっくりの飾り炭や小枝等を材料にネイチヤークラフト、最後に製材工場での見学を行いました。

当センターは森林浴と飾り炭作りを担当。参加した子供たちは、森林浴では「蝉の抜け殻」や林内で撮影された

京都大学実習生を国有林に案内

八月五日（水）、京都大学農学研究科・生物資源経済学専攻の学生（二回生）四名・教員等三名が来所、国有林内で北海道林業の研修を行いました。



玉切りの実演

案内所は高性能林業機械による間伐作業が行われている国有林三二一林班、森林造成から五三年を迎えたパイロットフォレスト・当センター雷別自然再生事業地の三力所を見て回りました。

「動物の写真」に興味津々、飾り炭作りでは「木を燃やす炎」に目を輝かせるなど、親子共々森での新たな体験がよい思い出になったのでは無いでしょうか。



森林浴
(樹木紹介)



竹筒（火吹き）
で火起こし



高性能林業機械の作業現場では、各機械の働きや作業の流れ等について実施企業体から説明や作業実演がなされ、作業システムの企業体ならではの工夫を学んでいました。パイロットフォレストでは造成当時の困難克服や地域貢献・今後の働きなど、林業自体が社会に果たしてきた役割を感じたと思います。また、自然再生では、森林の復元など新たな課題について学べたことと思います。

野生動物の生息調査結果報告 (自動カメラによる撮影調査)

調査期間 平成21年7月6日～平成21年7月27日

調査地 パイロットフォレスト

= 自動カメラにより生息が確認された野生動物 =



ヒグマ (7/16 17:33 撮影)



エゾタヌキ (7/6 14:24 撮影)



エゾシカ (7/8 5:12 撮影)



キタキツネ (7/20 22:24 撮影)



ニホンイタチ (7/9 15:00 撮影)



ミンク (7/14 23:44 撮影)



ヤマシギ (7/21 3:16 撮影)



エゾヤチネズミ (7/22 0:45 撮影)



エゾリス (7/24 5:41 撮影)



エゾシマリス
(7/24 5:55 撮影)
いる場所を
拡大しました。



自動撮影カメラによる野生動物の生息調査を9月3日～9月24日までの間で行う予定です。

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒080-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URE http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp